

◆会議録（概要）

1 開会（13時30分）

2 あいさつ

3 議題

(1)基本構想修正図の主な施設概要の検討と意見集約

①水景施設について

《委員からの意見等》

委員：市が提案する3案の中では、噴水+流れ+ジャブジャブ池の案がよい。水景施設案比較検討表のランニングコストには、噴水設備などのメンテナンス費用も含まれているのか。

市→水景施設の電気料金、メンテナンス料金、水道料金も含めてあります。

委員：市内にもミスト的な噴水があると思うが、故障率はどのくらいか。

市→佐久は寒冷地なので水による設備の劣化が想定される。提案させて頂いた水景施設は、規模が過大でなく故障が少ないように考えて提案した。

また、噴水は駒場公園にあるが停止している。せせらぎはさくらさく小径にある。

委員：故障で止まっているのか。

市→強制的に止めている。佐久平駅前の月の池の噴水も現在止めており、他の用途への方向性を検討している。

委員：冬場凍みを考えれば、複雑な構造ではなく、さくらさく小径のシンプルな流れで、少しジャブジャブ池を付ける単純な形で良い。噴水には無理がある。

委員：オープン当初は華々しくやっても、それが時間と共に絶えてしまわない単純な計画で、子供たちが流れで集える場所が良い。

委員：市が提案する噴水は石畳で平たいので、噴水を使用しない時でも子供が遊べる。寒冷地だと凍みってしまうから無理ということか。

市→提案した噴水は、石畳の中にノズルの先を埋め込み、強弱を付けて水が飛び出してくるもので、噴水の周りに側溝を付けて、そこに水を落とす仕組みである。冬期間など噴水を使用しない時は単なる石畳になっている。似たような噴水は小布施ハイウェイオアシスや南長野運動公園など、県内でも設置されており、毎年使用している状況なので長野県に適した噴水であるので、提案させて頂いた。

委員：私はこの噴水が希望です。テレビでも毎年夏になると水が下から飛び出す噴水の中で子供達が遊ぶ姿の映像が出る。この辺にはない施設。私も噴水、流れ、下流にジャブジャブ池の案だが、噴水と流れは必要と思う。

委員：噴水+流れ+ジャブジャブ池の案がよい。市内で停止している噴水は人が入れない景観目的のもの。子供が中に入って遊べる噴水は佐久で初めてのことで、管理費用は掛かるが、ぜひ造ってほしい。冬になるとそこが閑散としてしまうが、渡る石などを設置すれば、水が無い時でも子供達が登ったり遊んだり利用できる。資料1、P7のジャブジャブ池を提案する。

委員：これから日本を代表する佐久市として、佐久平駅の近くは良い公園であってほしい。3案のミスト噴水+流れ+ジャブジャブ池を提案する。いいなと思って頂ける公園にしたいと思い私も案を書いた。(資料1、P8参照) 水を使うことに関して佐久市はどうだろうかと思っただが、水景施設はやって頂きたいと思う。

委員：ジャブジャブ池の中はノズルを入れるのか。水深、安全性、冬期の水はどのように考えているのか。

市→ジャブジャブ池については、子供が転んでも危険が無いように水深はごく浅く10cm弱にしたいと考えている。冬期間の水はありません。

委員：噴水の場所と流れていく先に高低差があるので、流れ自身に動力は要らない。動力が必要なのは噴水とジャブジャブ池ですか。

市→ジャブジャブ池に溜まった水は一度貯水槽に落とし、それを汲み上げて濾過機や殺菌器を通して噴水に再度戻すような循環の仕組みを考えている。

委員：水景施設(水道水を使用)の水を塩素が無くなってから芝の散水に再利用すればランニングコストが押さえられる。また井戸を掘る費用も要らない。それは不可能ですか。

市→地下水を利用した場合と水道水を利用した場合の2つのランニングコストを算出しているが、地下水の水源調査がこれからで、湧水量が把握できていないが、湧水量によっては芝への散水のための受水槽を設けて、そこに地下水を溜めて、散水回数が多い夏場にその地下水を利用して散水する。水景施設の噴水などに使用する水についても、地下水にそれだけの余力、湧水量があるかということも考えて検討する。

委員：芝の散水や水景施設は1日何トン消費するのか。ランニングコストをいかに控えるかということを決めていかないといけない。

市→芝の方が消費量は多い。

委員：今後ランニングコストが高いから停止ということが起こりうる。ランニングコストを下げる手段として水を再利用する、或いは噴水だけの動力と循環だけ、ミストは止める、そういうことを検討すれば年間コストは圧縮される。造ることは賛成だがもう少しスリムな形がよい。

会長：今の話は事務局の方で問題がないように考えてやって頂ければよい。
市→維持管理については、コストが抑えられる方法で検討を加えていきます。

委員：シンプルな、さくらすく小径の程度であれば故障も少なく、何年も利用できる。自分の周りの者6人に聞いたが4人は反対、シンプルなら良いがそれ以外だったら反対という人が沢山いた。さくらすく小径の流れで何故いけないのか。

最初、水景施設の位置はこもれびの森だったが、勾配の関係でつどいのひろばの方にしたということだが、これは落ち葉のことも考えてのことか。

市→第2回の検討委員会ではこもれびの森に水景施設を設置するという提案をしたが、委員さんからこの場所だと落ち葉が堆積するのではという意見を頂いた。そのような意見を参考にして、高低差があり図面の上から下に流れる形で、尚且つ子供さんが利用することを考え、つどいのひろばの遊具の近くに配置した。

委員：母親の立場からすると噴水がある公園は理想的。お母さん友達からも噴水で遊べる施設があったら良いという意見を沢山頂いている。私としては噴水+流れ+ジャブジャブ池の案を押ししたい。

今日の会議でどの案にするかを詰めるのでしょうか。多数決など、どのような方法でやるか教えて頂きたい。

会長：3つの案の中から抽出したいと思っています。

委員：第1回目の検討委員会では、市は水景施設に乗る気でなかったが、各委員からの提案で今回3つの案が示された。精密な機械の利用期間など具体的なことをここで検討していく必要がある。何となくあんな感じですという意向を汲み取ってもらいだけでなく具体的なことの意見を集約していく必要がある。

会長：10数名の委員の皆さんからの提案を市で纏めたのがこの3つの案。この中からどんなイメージでよいか、そこまでやりたいと思っている。

皆さんの提案を基にした案であることをご理解して頂きたい。

委員：1から3案の他にになにか案はないのですか。さくらすく小径の程度というご意見の方もいるので。本来この公園の本質論から話をして行政にバトンタッチをして、最終的に行政の方で決める。噴水が何本で、どこに出すかで景観が全然違ってしまふ。そこを先に訂正していけるように委員会で解決していければいいのですが。

委員：公園といえば芝や花という単純なものよりも、やはり水が付きまとう。私の考えを提案した。(資料1、P4参照) 検討委員の提案が即出来るとは思わないが、それでこの事業を進めてもよいのかと思う。

副会長：皆さんの意見を纏めて、整理したものがこの3つ案。委員会では水景施設をやる方向で決めた。具体的な方向を決めることが今日の議論になる。市が3つ案を提案した。これについて論議が始まった段階です。流れだけのご意見もある。私の意見は、水景という問題は、この公園のコンセプトが自然ということであるので、自然の中に水が大事であるが、市民に納得してもらうには最低限の流れだけで良いのではないかなと思う。しかし3つの案が出ていますので、これについてご協議頂いて方向を定め、その上で問題点について意見を頂き、纏めて頂いた方がいいかなと思います。

委員：3つの中でどれかで議論を進めていけばよいと思う。

駐車場の下の調整池は常時水があるのか。その水を利用できないか。

市→調整池は市民交流ひろば周辺の雨水を溜めるようになっています。

委員：基本的には空にしておかなければならないのか。

市→通常は空です。大雨の時だけ一時的に水が溜まるだけです。

副会長：具体的なことはこれから実施設計の中で検討して頂くということで、どうでしょうか。1の案について、多数決で決める問題ではないと思うので、全体の雰囲気を見て判断して頂くということで良いと思います。

委員：景観だったら噴水だけで綺麗で涼しげでいいが、噴水の利用日数が短ことやコンセプトが自然であれば、シンプルな流れに少しのジャブジャブ池がコンセプトに合っている。噴水があればあつたで物凄く楽しくて子供たち楽しんで頂けると思うが、管理という問題が後から来る訳ですので、そういうことを考えるとシンプルな流れだけというところで、私たち市民からの意見というものを市の方で吸い上げてもらい、判断して頂ければと思います。

委員：私は3案（ミスト噴水+流れ+ジャブジャブ池）を支持します。

日本は災害とか色々あつて経済とかも落ち込んでいてとても寂しいことばかりだったので、前向きにユニーク性ある公園をお願いしたい。ミスト噴水があるだけでどの位コストが掛かるのかは行政に任せ、前向きに明るい公園を造って頂きたい。

副会長：ミスト噴水というものはどういうものか説明頂けますか。普通の噴水に比べ維持管理が大変なのではないかなと思うので。

市→3案のミスト噴水は、ノズルの先を霧状に吹くようにして水が噴き上がるもの。1案と2案の噴水は、直に出るようにしているもので、ノズルの切り替えで霧状になったり直噴になったりする。仕組み的には1案2案のノズルの先を小さくしたような感じのものになる。管理的には、1案2案の噴水とほぼ同じような管理で、使用する時期は、噴水については7月、8月位と思っている。流れとジャブジャブ池は4月から9月位までの使用を考えている。噴水やミスト噴水は、真夏の時期に清涼感が一層味わえることができる時期を提案させて頂いた。

副会長：噴水とかミストの機械物はまったく意味がないと思っている。自然の中に水が流れていて子供がそこで遊べる流れやジャブジャブ池があり、それで十分だと感じる。コンセプトを見ても自然の公園なので、そこに機械物があることがいかなことかと思う。寒い時期の対応や、ミスト噴水の維持管理も大変だと思う。こういった形で市民の皆さんに納得して頂くか、委員会として十分考えていかなければならない問題だと感じている。

委員：なぜ噴水かという、山の中の広い公園はせせらぎで十分。佐久市公園整備基本構想策定業務の中で中心的市街地の公園として造るとある。山の中とか市街地から外れているところに造るのではなく、佐久の玄関口に造るということなので、機械的な物も含まれると思う。そういう考え中で意見を出させて頂いている。お母さん方から言うと欲しい施設です。何故かという川遊びならそこら辺の川に行けばいい、さくさく小径のようなといえばさくさく小径にいけばいい、ではなくてここら辺にはない、今までになかった公園が欲しいから噴水は欲しいねっていう話でお母さん方と話をしてきた。確かに無理があるのであれば止めてもいいと思うが。これまで県外に行かないといけなような公園渡りだった。佐久の公園は小さくてちっぽけで大して遊べる所がない。みんな大きな公園に行ってしまう。だからこの公園を良い公園にしたいと噴水という話を出させて頂いた。その辺を皆さんに考えて頂ければ有難いと思います。(女性3名拍手)

委員：噴水、ミスト噴水、これは佐久では短期間であるが、子供に対しても、また親も非常に健康的で良いとつくづく思うが、佐久の環境やコスト面を考えると、流れとジャブジャブ池、或いは池が一番理想だと思う。

会長：皆さんのご意見を参考に、集約させて頂きたいと思います。子供が使うので、お母さん方の意見を尊重して、イメージとしては2案の噴水、流れ、ジャブジャブ池の水景施設で取り纏めて、私からの提案とさせて頂きたい。詳細については、維持・管理費用が多額にならないことや、佐久の気候から使用期間が短いことや、管理が大変になることから、それらを考慮した水景施設の規模であることなど、委員会としての考え方を考慮して頂いて基本設計や実施設計への反映をお願いしたいと思うが、どんなものでしょうか。

委員：他の案もあるので、その委員さんのご意見も聞いて頂けますか。

委員：1案2案3案で決めてこうではなく、委員会の中では、こういう流れで、こういう雰囲気の見解が出ていますということで良いと思う。

会長：この委員会の方向として第2案ということで、お願いをしたいと思います。

委員：市の方で2点検討して頂きたい。水景施設の水を芝の散水に利用出来るか、それによりろ過装置が要らなくなる。噴水の動力として太陽光発電が可能であるか。

市→色々なご意見を頂き、有難うございます。細部についてはこれから基本設計、実施設計に生かしていきたいと思えます。市としては予算確保の部分で、やっていけるだろうということで提案をさせて頂いてます。ただ金銭的に十分に検討している訳ではない。噴水が1個なのか2個なのか10個なのか、これはこれから行う詳細設計の中でやらせて頂きたいと思っている。会長さん言われましたけども委員会では第2案ということで決定して頂いたということによろしいでしょうか。

委員：よい。(拍手)

会長：確認ですが水景施設の位置はつどいのひろばの前といたします。

②遊戯施設について

《委員からの意見等》

会長：遊具の考え方としては、安全な遊具であること、子供に魅力的な遊具で、タイヤや丸太など、身近なものを利用した遊具を組み合わせ配置すること、世代間の交流ができるように遊具を配置することであると思えます。具体的には事務局からプランを出して頂いた。どのような組み合わせがよいか、ご検討を頂きたいと思う。

委員：市が提案する中では3案の遊具配置案が良い。ふわふわドームは難しいと思ひ反対です。こもればの森なのでそこに子供遊具は要らないと思う。つどいのひろばに大人の健康遊具を入れるだけで世代間交流になるではないか。

委員：実際遊ばせてきた者としてふわふわドームは賛成である。小さい子から大きい子まで、大人に見守られて遊んでいる。そんな雰囲気遊ばせられるのは、このふわふわドームぐらいと思っている。他の遊具は大人が付いてないと危ない感じがする。

委員：ふわふわドームに賛成である。できればドームの回りに大人が見ていただけるように庇があるものを造って頂けると有難い。

委員：ふわふわドームは電気で膨らませるのでコストが掛かると聞いている。莫大な金額になるのであれば、水景施設もやって、この遊具もやってというのは厳しいかなと思うが。出来ればふわふわドームが欲しい。ふわふわドームはつどいのひろばの前の芝生の場所に設置してほしい意見がある。

市→つどいのひろばの中でお願いしたい。送風機から地下配管を通して幕に空気を送ることでドーム全体を膨らませますが、正確なランニングコストは把握しておりません。

副会長：安全に遊べる遊具ならどの案でも良い。

ふわふわドームの幕は樹脂でできているのか。寒い気候に耐えるか、維持管理費や耐用年数などをチェックされ検討頂きたい。具体的になった段階で問題になることだと思うので、検討頂いて設計に反映させて頂きたい。

委員：対象年齢が6歳から12歳の遊具は親の付き添いが要らないのか。

委員：親は近くに居ればいい。

委員：3歳から6歳の対象年齢の遊具はどうですか。逆に3歳の子が6歳から12歳の対象年齢の遊具に行った場合、どうなるのでしょうか。

委員：親の責任となる。

委員：親の責任でよいのか。何歳から何歳までが適応であるといった表示が必要になりますね。1案の滑り台の安全性はどうか。管理責任の面が心配である。ふわふわドームは親なしで遊べるので賛成です。

委員：安全面に関してのお話がありましたが、安全基準の対象年齢というのは国で決めていると思います。本当に安全に造られているので、その点は複合遊具でも同じで、この対象年齢であれば安全だと思う。

ただ、ふわふわドームの足場の素材は何を予定しているのか。上から落ちたり、転んだりしても怪我が少ないというウツチップだとか、芝生を伸ばしてとか。

市→足場につきましては、落下しても衝撃が少ない素材を考えます。

委員：もしふわふわドームが出来るとしたら、芝生とかの形で駆け回れるものを考えて頂けたら有難い。

委員：例えば子供達が尖がったものを持って遊んでいて、幕を刺してしまった時、空気が漏れてしまうのか。

委員：そんなものではない。故意にやればだめですけど。

委員：その施設を使っている人達にご意見などを聞き、メリットデメリットなどあると思うので、コスト面も含めて考えて頂ければ有難い。

委員：子供は3Dで遊ぶのでふわふわドームは発達にすごく良い。ただ頭同士が当たる欠点がある。頭蓋骨骨折の危険は常にある。それはどの遊具にも絡んでいて全国の遊具が消えていくのもそういうことである。そのようなことを広報で謳って貰うというのも1つの手かなと思う。

会長：遊具についてもイメージ集約をいたしたいと思います。ふわふわドームの方が多いようですので、案2で纏めたいと思います。いかがでしょうか。

委員：つどいの広場遊具配置案の2案には大人の遊具が配置されていますが、こもればの森とは別に、つどいのひろばにも世代間交流のための大人の健康遊具を入れるという

ことか。

市→つどいのひろばの上にも世代間交流のための遊具を置き、こもれびの森の方にも若干幼児用遊具を置き、世代間交流が出来るようにする案です。

委員：大勢の大人や子供が使えるのであれば、これにして貰いたい。

委員：10代後半から20代の方を対象とするものが計画から落ちている。市民交流、世代間交流として造るのであれば、スケボーやモトクロスなどがなぜ無いのかという話があっても不思議ではない。どこかに特化するということは大事なこと。

委員：佐久平駅からミレニアムパークまで1つの公園としての考えである。スケボーとかは勤労者福祉センターの横にあるので、市民交流ひろばには要らないか、もっとオーバーに言えば、あの施設をそっくりここに入れたとすれば、あそこ全部を勤福の駐車場にしたらどうかとも考えた。

副会長：この公園に健康遊具を置くということは基本構想案の中にあり、市民への説明を経て出てきている案。余程の理由がないと外せない。そこに子供の遊具を入れる話は、この委員会の中で健康遊具だけでなく子供達と交流できる場がほしいという意見があったので、入れたという流れです。委員会では大人の健康遊具と子供の遊具を一緒に置くことが良いかの議論になる。

一緒に置くということで、子供の遊具と同様に大人の健康遊具も安全に配慮したものがどうか。その辺のチェックも市の方で確認をお願いします。

委員：この場所に健康遊具を持ってきた理由はあるのですか。

市→こもれびの森の健康遊具については、当初計画の中で足つぼマッサージが出来る健康歩道にするという発想がありました。木陰の下で大人が体を動かすというイメージでこの位置に健康遊具を配置しました。

委員：こもれびの森の木下で、ちょっとした運動をさせて頂くということが高齢者にとっては本当にいいのではないかと思います。

大人の健康遊具と子供の遊具を一緒に置くことは、子供を転ばせたりする不安があり伸び伸び出来ない考えもあったが、子供と一緒にするのも楽しい。こもれびの森への健康遊具は賛成です。

会長：発想当時には子供から目を離さないように大人が傍に付いているということだったと思います。こもれびの森に世代間交流のための遊具を設置したらどうかということをお願いしたいと思います。

つどいの広場遊具の配置については第2案で取り纏めたいがどうでしょうか。

委員：異議なし

会長：2案をお願いしたいと思います

委員：子供の鉄棒を置けるスペースがあれば1～2基の配置を願う。

市→鉄棒はご意見として伺います。

③その他の施設について

《委員からの意見等》

委員：つどいのひろば前のパーゴラは決定なのか。日が当たりよくないのではという母親の意見がある。

市→パーゴラは木を上は何本も並べた状態のもので、隙間が空いていて、完全に日を塞ぐようなものではない。屋根が完全に塞がれたシェルターが勤福と駐車場（南側）の近くの2カ所に配置しています。このことを考慮して、つどいのひろばにも屋根が塞がれたものが良いのかの検討をお願いします。

委員：太陽のひろばにはパーゴラを置き、子供達が遊ぶつどいのひろば前のパーゴラは夕立の時に子供達が逃げ込めるよう、雨を遮断できるものが良い。

委員：休憩所は雨が降った時飛び込めるように屋根があった方が良い。パーゴラではなく雨を凌げるものにして頂きたい。

委員：子供達が遠足でお昼を食べるときは屋根の付いた休憩所がいい。場所はふわふわドームを設置して頂けるのであれば、つどいのひろば前の休憩所を少しずらして頂くと、お母さん達が見ている時に日陰になって子供達を見守れる、若しくはパーゴラを伸ばして頂いて、庇の部分長くすれば理想的です。

市→屋根が完全にあった方がいいというご意見ですので、その方向で検討します。

委員：トイレは一箇所だけですか。

委員：2箇所ある。

委員：トイレのことは心配になる、特に高齢者になると激しくもなる。2箇所だからいいかは分かりませんが、その辺も考慮して貰いたいと思います。

花壇の関係ですが、四阿の所を藤棚にしたらどうか。雨の日や太陽の日差しが強い日の対策としていかがか。

市→パーゴラは藤を上に乗せることで天然の日陰になる。つどいのひろばの所をシェルターにした場合、パーゴラがあるのは出会いの散歩道の所になり、そこに蔦を這わせるかどうかである。

委員：他の公園に行ってみると、通路とマレットゴルフを併用して人の邪魔にならないように楽しんでいる。そういうことも考えてみたらどうか。また芝の所も本格的なサッカーではなく、ボールが蹴れる程度で、色々な人が利用できるようなことを考えて頂ければと思う。

市→佐久総合運動公園のマレットゴルフ場、千曲川交流広場や駒場公園、その他の公園にもマレットゴルフ場が併設されています。そちらをご利用頂きたいと考えていますので、市民交流広場では考えておりません。

委員：トイレを増やすことはできないか。

市→トイレの基数は2基と考えております。増やすことは出来ません。

委員：トイレが駐車場の北側にあるが、子供達が遊んでいて間に合わないのではないかと
思う。つどいのひろばにもう1基あった方がいい。或いは水景施設の周りに手や足洗
いできる場所と一緒にトイレがあればいいと思う。

委員：広場の端から端まで200m近くある。今の位置で2箇所というのは。

市→設計段階では2基です。

委員：絶対子供は間に合わない。おしっこ漏れちゃいますよ。

委員：つどいのひろばは、子供用の小さいトイレだけでもいい。

市→検討事項とさせていただきます。

委員：地元の声で圧倒的に多いのは、今度駐車場どこに止めたらいいのかという声。佐久
平駅や大型店を利用している方、ほとんど車で来られる。歩いて来られる方は数%で
ある。小学校の話の中でも駐車場の意見は出ている。これまでのこの敷地の利用状況
を勘案され、駐車場の必要台数を確保してほしい。

管理についてはアダプトシステムなどで、地域の人が維持管理している姿がモラル的
にも評価されている。草むしりやトイレ掃除などアダプトシステムなどで地域の人が
維持管理することを考えて頂きたい。

委員：地域の方がいかに公園を大切にしてくれるかが必要。公園を守るサポーターを地域
の人達から募集したらどうか。検討を願う。

市→検討します。

委員：トイレにはオムツを替える台があるのか。男性トイレにもあるのか。

市→誰でも使用できる多目的トイレにあります。

副会長：ボランティアにお願いすれば道具を置く場所も必要。検討を願う。

市→検討します。

(2) その他

市→次回の第4回検討委員会は11月2日で、消防署の講堂で行います。検討内容は、基
本設計の進捗状況の説明と管理運営の検討を予定しています。

4 閉会 (15時45分)